□　課題分析は、利用者の有する課題を客観的に抽出するための手段として合理的と認められる適切な方法を用い、課題分析標準２３項目を備えていますか。

□　医療連携の重要性・必要性を認識し、主治医からの情報収集に努めていますか。

□　課題分析において利用者が「自立」ではない場合、具体的に「何ができないのか」を確認し、それを誰が支援しているのかアセスメントできていますか。

□　現在、困っていることのみを把握するのではなく、多職種からの情報収集に努め予後予測にたった視点でアセスメントをしていますか。

□　介護保険サービスのみではなく、インフォーマルな社会資源などの活用について意識をし、アセスメントを行っていますか。また、必要に応じて活用していますか。

□　各利用者に応じた自立支援、重度化防止の視点に立ち、アセスメントの中で機能訓練等の必要性を判断していますか。

□　利用者の生活の質を高めるための視点で課題を分析し，利用者の意向を踏まえたうえで目標を設定していますか。

□　利用者本人や家族が希望するニーズのみに対応するのではなく、そのニーズが本当に必要かどうか分析する努力をしていますか。

□　課題分析を通じ、ニーズの把握に努め、長期目標・短期目標・サービス内容に整合性がある計画書を作成することに努めていますか。

□　家族介護が可能な場合、家族の介護への思いや実際にどの程度支援が可能かを確認し、プランンに位置づけていますか。また、家族介護ができなくなる場合に代替サービスが必要となる内容についてプランに位置づけていますか。

□　家族の介護に対する思いを受け止め、その思いを支える視点を持つと同時に、家族も利用者の支援を担うチームの一員として、目標達成に向けて一緒に関わってほしいというアプローチがされていますか。

□　画一的なプランではなく利用者の個別性を尊重したプランを作成していますか。

**ケアマネジメント重点留意事項　チェックリスト**